

報道機関各位

箕輪町在宅医療連携フォーラム（講演会）

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

～専門職だからできること～

箕輪町では、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちづくり」を目指し、地域包括ケアシステムの構築と医療と介護のさらなる連携を推進しています。人生の最終段階を自宅で迎えたいと望む人は 73.9%（令和元年の高齢者実態調査）と多く、医療と介護の連携は不可欠です。在宅で療養しながらもその人らしい暮らしを支える専門職に向け、ACPに関する知識習得と支援技術向上を目的に、講演会を開催します。

日 時

令和3年11月30日（火） 13時30分から15時まで

場 所

箕輪町役場 3階講堂（メイン会場）Zoom開催（講師・参加者ともにZoom参加）

内 容

テーマ：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）～専門職だからできること～

講師：松本市医師会 医療・介護コーディネーター 岡村律子 氏

対象者：町内の医療機関・歯科医院・薬局・介護サービス等事業所に所属する専門職

箕輪町の要支援・要介護認定者を担当する介護支援専門員

*参加には事前申し込みが必要です

添付資料 有 無

福祉課 高齢者福祉係
(課長) 唐澤 勝浩 (担当) 兼子 真紀
電 話 : 0265-79-3111 (内線) 1421
F A X : 0265-70-6699
E-mail : fukushi@town.minowa.lg.jp



じゃらんnet

「全国のおすすめ紅葉ス
ポットランキング2021」で
もみじ湖が2年連続全国1位
に選ばれました！！

箕輪町子育て少子化対策
キャッチコピー

みんなで育てる みのわっ子
～パパになるなら箕輪町
ママになるのも箕輪町～

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）

～専門職としてできること～

高齢化に伴う在宅医療・介護の需要が年々増加し、2025年にはその需要が約100万人を超えることが予測されている中、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが必要となってきています。

本人の人生観や価値観、希望に沿った医療及びケアを具体化する方法を学ぶことで、本人の意思が医療及びケアに携わる方々に伝わり、住み慣れた地域で、自分らしく最期を生きることにつながります。是非、ご参加ください。

日時 令和3年11月30日（火）13:30～15:00
（ Zoom入室13時～ ）

※Zoomによる講演ですが、環境等で事業所等で受講できない場合には箕輪町役場講堂でも視聴可能です。役場での受講を希望される場合は、申し込み連絡票にその旨を記載してください。

講師 松本市医師会 医療・介護コーディネーター
岡村 律子 氏



申し込み・問い合わせ

申し込み
方法

事業所ごとに、別紙の申し込み連絡票に事業所名と氏名、職種、必要なライセンス数を記載し、メール又はFAXにて申し込みをしてください。申し込み書の欄に書ききれない場合は、お手数ですが申し込み書をコピーしてお使いください。質問がありましたら、別紙質問票に記入の上、期限までにメール又はFAXでお送りください。

期限

令和3年11月18日（木）まで



問い合わせ

箕輪町役場 福祉課高齢者福祉係 地域包括支援センター
FAX 0265-70-6699 TEL 0265-70-6622
Email fukushi@town.minowa.lg.jp